

請願第3号

市議会議員報酬1割削減を求める請願について

令和元年10月17日付けをもって、請願者 XXXXXXXXXX から
提出されたみだしの請願は、同日受理したので、これを付議する。

令和元年11月12日

交野市議会議長 久保田 哲

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 3 号
受 理 年 月 日	令 和 元 年 1 0 月 1 7 日
請 願 の 件 名	市 議 会 議 員 報 酬 1 割 削 減 を 求 め る 請 願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	
請 願 の 要 旨	<p>交野市議会議員の報酬は、一人当たり年900万円を越すと聞いている。一方、国民の平均年収は昨年度、給与所得者（サラリーマン）で約432万円、給与所得者の過半数が年収400万円以下といった実情である。全国的にも貧困の状況が深刻化し、更に子どもの貧困率は7人に1人という状況である。</p> <p>議員の政治姿勢は市民に寄り添い、市民の生活改善をはじめ市民感覚に近いものであるべきである。しかしながら、政務活動費不正使用をはじめ金に関する不祥事が全国でも多々生じている現実もある。</p> <p>少しでも市民感覚に寄り添っていただくために、このたび、議員報酬の1割削減を求める。その結果交野市に戻った費用は1300万円を越す額である。もし実現すれば、これを喫緊の課題である公共交通の充実にあてることもできる。</p> <p>議員は市民の信託を受け活動されていると思う。市民に寄り添う交野市議会にするためにも、議員報酬の削減を求める。</p>
紹 介 議 員	松 村 紘 子